

2025  
No.252

# アグリ高島

## 表紙

## 生分解性マルチを活用したスイートコーン栽培

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 生分解性マルチでスイートコーン栽培の省力化！   | P 2 |
| 自然災害に備えて農業版BCPを作成してみませんか | P 2 |
| ハクビシンやアライグマでお困りの方へ       | P 3 |
| 集落の「地域計画・目標地図」を更新しましょう！  | P 3 |
| 新規指導農業士の紹介               | P 4 |
| 新規就農者の紹介                 | P 4 |
| 滋賀県立農業大学校養成科・就農科学生募集！    | P 4 |



# 生分解性マルチでスイートコーン栽培の省力化！

令和5～6年に高島市で生分解性マルチの現地試験を実施した結果、スイートコーン栽培に適していることが分かりました。生分解性マルチを使用するとコストは高くなるものの、マルチのはぎ取り・回収作業が省けることに大きなメリットを感じられる生産者が活用されています。

## Q メリットは？

- ① 作物残渣と一緒にすき込むことで、マルチのはぎ取り・回収作業が不要となり、大幅な省力化が可能です。すき込み後も後作への影響はありません。
- ② 廃プラスチックの処理費用が不要でコスト削減できるほか、環境面でもプラスチックの排出抑制に貢献できます。

## Q 生分解性マルチとは？

土壌中にすき込むと、微生物の働きで水と二酸化炭素に分解される資材のことです。

## Q デメリットは？

- ① 価格が通常のポリマルチよりも高くなります。
- ② 加水分解によってマルチの強度が低下するため、長期間の保存ができません。

表1. スイートコーン栽培のマルチに要する労働時間と経費の比較（令和6年度）

|         | 労働時間<br>(時間/10a) | マルチ費用<br>(円/10a) | マルチ処分費用<br>(円/10a) | 経費合計 (円/10a)<br>* 人件費を含む |
|---------|------------------|------------------|--------------------|--------------------------|
| 生分解性マルチ | 1.8              | 38,000           | 0                  | 39,830                   |
| 慣行ポリマルチ | 9.1              | 13,760           | 4,650              | 27,664                   |

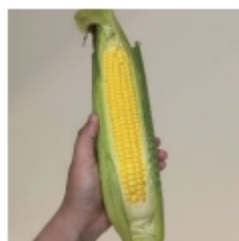
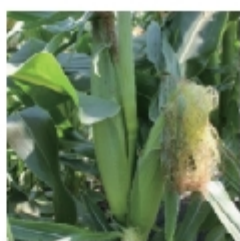
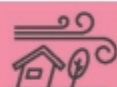


図 スイートコーン栽培の流れ



## 自然災害に備えて農業版 BCP を作成してみませんか

BCP（事業継続計画）とは、自然災害などの緊急事態が発生した場合、人員・電気・水・資金等の不足が想定される中で、どの仕事を優先して続けるか、どうやって再開するか、ということをおあらかじめ決めておく計画のことです。

農林水産省では、自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストを作成しています。チェックリストには「リスクマネジメント」と「事業継続」の2種類のシートがあり「事業継続」の項目ごとに必要な内容を記載すると、簡易的な農業版 BCP が作成できます。

BCP を作成することで、家族や従業員と緊急時の対応を共有することもできますので、農業版 BCP の作成をぜひ御検討下さい。

- ◎ チェックリスト、農業版 BCP のフォーマットは、農林水産省ホームページに掲載されています。

【農林水産省 事業継続計画 BCP】

[https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff\\_bcp.html](https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html)

② アグリ高島 No.252

Q 農業版 BCP 農水省

検索

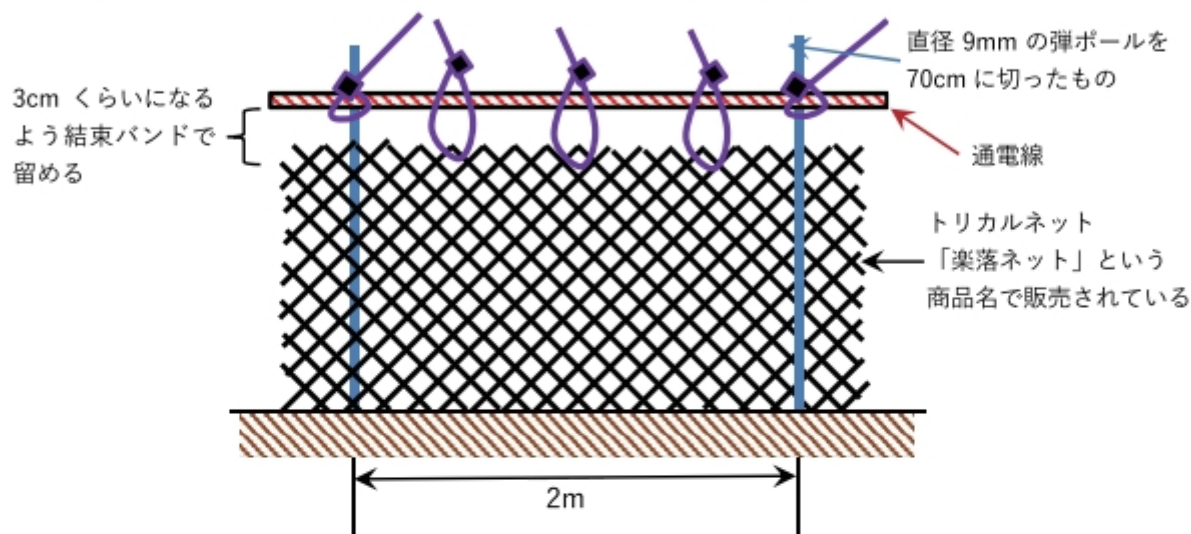
# ハクビシンやアライグマでお困りの方へ

## 中型獣対応電気柵「楽落くん」について

ハクビシンやアライグマなどの中型獣は、平坦部でも出没し、農作物に被害を与えます。特に甘いものが好きで、果樹やすいか、まくわなどを好みます。

また、木登りが得意で通常の柵では簡単に侵入するので、電気柵が有効になります。特にハクビシンやアライグマに有効なのが「楽落くん」です。

詳しくは高島農業農村振興事務所農産普及課までお問い合わせください。



## 集落の「地域計画・目標地図」を更新しましょう！

「地域計画」は、農地の利用や将来の担い手を明確にし、「目標地図」に基づいて農地を貸し借りすることで、地域農業を次世代へ引き継ぐことを目的としています。

「地域計画・目標地図」は一度策定して終わりではなく、集落内で農地の集約化や耕作者の変更などの話し合いを継続し、毎年見直して更新することが必要です。更新した「地域計画・目標地図」は地権者や耕作者、入作者等に十分に周知しましょう。

(※「地域計画・目標地図」は高島市のホームページ (<https://www.city.takashima.lg.jp/soshiki/norinsuisambu/nogyoseisakuka/6/10600.html>) に掲載しています。)



図：農林水産省「地域計画変更マニュアル」より引用





## 新規指導農業士の紹介

### 石津 大輔 さん・絃子 さん

石津大輔さんは平成19年から父と一緒に有機農業に取り組まれ、平成21年に経営を受け継いでからも栽培技術や販売の工夫を重ねられて優良経営を実現されています。また、有機JAS認証の取得や有機JAS検査員としても活躍され、市内の有機農業の中心的な役割を果たされています。石津絃子さんは平成28年から農業に携わるようになり、餅などの農産加工や販売管理で能力を発揮されています。

石津大輔さん、絃子さんは指導農業士として有機農業の担い手育成や地域農業の魅力発信に御活躍いただけるものと期待しています。



## 新規就農者の紹介

### 中山 治和 さん

中山さんは、令和7年に滋賀県立農業大学校就農科を修了し、就農されました。645㎡の単棟ハウスでイチゴを栽培する他、ブルーベリー(2,300㎡)とブドウ(500㎡)の露地栽培で経営を開始されました。

イチゴは、滋賀県品種「みおしずく」と「章姫」を栽培され、「みおしずく」の市場出荷に取り組まれます。就農1年目の忙しい日々の中、イチゴ研修会や経営研修会など様々な研修に参加される他、「高島ぶどう研究会」に所属して熱心に学ばれています。将来、ブルーベリー観光農園や飲食店を開業するという夢に向かって意欲的に農業経営に取り組まれています。



### 廣瀬 元 さん

廣瀬さんは県外の農場で無肥料、農薬不使用の自然栽培を2年間学び、令和6年4月から泰山寺の良質な黒ボク土に惚れ込まれ、100aのは場で露地野菜の自然栽培に取り組まれています。露地野菜はジャガイモやキュウリなど、果菜類から根菜類まで幅広く8品目に組み込まれ、提携先の農業法人に販売する他、インターネット販売、直売所で販売されています。獣害や酷暑などの栽培上の困難はありますが、将来的には研修生を受け入れ自然栽培農家を増やしていきたいと意気込んでおられます。



## 滋賀県立農業大学校 養成科・就農科 学生募集！

滋賀県立農業大学校（以下、「農大」）では実践教育を通じて農業経営に必要な専門知識・技術を習得することができます。本県農業を担う優れた青年農業者等を育成する「養成科」と、就農に必要な技術と知識を習得するための「就農科」があります。詳細は右記二次元コードより農大のホームページをご確認下さい。

興味がある方は農大（0748-46-2551）、もしくは当課までお問い合わせ下さい



農大 HP